

新修  
福岡市史

資料編  
近世②  
家臣とくらし

■ 刊行記念講演会 ■

# 黒田家家臣の

# 実像に迫る

平成 26 年

11/8  
(土)

13:30 ▶ 16:00

福岡市博物館 講堂【1階】

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1

電話 092-845-5011 FAX 092-845-5019

ご来場の際は、なるべく公共の交通機関をご利用ください

聴講無料

事前のお申し込みは不要です  
\*当日 12:00 より整理券を配布します

司会 柴多一雄 (長崎大学教授)

報告①

記録を残す家臣たち  
— 奉公人そして生活者として—  
高野信治 (九州大学大学院教授)

報告②

由緒書にみる黒田家の家臣団  
高山英朗 (福岡市博物館学芸員)

報告③

一代記にみる黒田家家臣の  
一生について  
鈴木文 (福岡市総合図書館古文書係)

報告④

福岡藩政の合理性と大目付  
— 『大野貞正公用日記』より  
岩崎義則 (九州大学大学院准教授)

演題、報告者、報告順は予告なく変更になる場合があります

■ お問い合わせ

福岡市博物館 市史編さん室

電話 092-845-5245  
FAX 092-845-5019

# 新修 福岡市史

資料編  
近世②

最新刊  
近日、配本開始!

# 家臣とくらし

A5判／一、一〇〇頁  
五、〇〇〇円（税込）

家老から足軽まで、黒田家家臣の仕事・日常生活・余暇活動など、「くらし」について記された資料を収録。さまざまなた記録から彼らの知られざる実像に迫ります。



## 関連展示 「家臣とくらし」

会期：10月15日（水）～12月14日（日）  
会場：福岡市博物館 企画展示室2  
観覧料：一般二〇〇円（中学生以下は無料）

『新修 福岡市史』資料編 近世2「家臣とくらし」刊行を記念して、福岡藩士の生活の様子を家老から足軽まで幅広く紹介します。

展示のお問い合わせは092・845・5011

福岡市博物館 学芸課

## 『新修 福岡市史』好評発売中!



**新刊 特別編 福岡城 — 築城から現代まで —**  
A4判／上製本／オールカラー／340頁／2,500円（税込）

黒田長政が四〇〇年前に築いた福岡城は、福岡藩の最終的な防御施設であり、江戸時代を通じて藩主の居所、領地統治の拠点として存続した。明治維新後は、一時県庁として使用されたのち、陸軍が収容まで軍用地として使用していた。戦後は、平和台野球場や陸上競技場などの運動施設、国立病院や裁判所などの国の諸機関、多くの学校、住宅の用地として利用されたが、現在は史跡として整備が進められている。本書は、こうした福岡城の築城から現代までの歴史を時代を追って明らかにし、城内諸施設の変遷を詳細にたどることによって、福岡城の全貌に迫ろうとするものである。



**新刊 特別編 自然と遺跡からみた福岡の歴史**  
A4判／上製本／オールカラー／470頁／3,000円（税込）

考古学、歴史学、自然地理学、植生史の成果を結集して、福岡の歴史を先史から現代に至るまで語るとともに、福岡の未来を探る。



考古ファン必見!!  
**資料編 考古3**  
遺物から見た福岡の歴史  
(A4判／758頁／5,000円)  
動植物遺存体分析などを大胆に導入した考古学と自然科学の融合。

福岡の商人が記した激動の時代の記録。  
**資料編 近現代1**  
維新見聞記  
(A5判／920頁／5,000円)  
幕末・明治維新期の福岡を知るための基本史料「維新雑誌」を全文活字化!!

「軍師官兵衛」も登場!!  
**資料編 中世1**  
市内所在文書  
(A5判／1,350頁／5,000円)  
市内にのこされた中世古文書を一挙に収録。花押集と実物大「聖福寺古図」付。

福岡・博多を学ぶための入門書。  
**民俗編 1**  
春夏秋冬・起居往来  
(A5判／1,000頁／5,000円)  
福岡市内の年中行事、福博の神社仏閣やモニュメントを集成。

福岡藩と黒田家のことを知るには、まずはこの本。  
**資料編 近世1**  
領主と藩政  
(A5判／1,000頁／5,000円)  
藩政の基礎史料に加え、領主とその家族にまつわる多様な史料を収録。

150人以上の福岡市民が登場。  
**特別編**  
福の民 — 暮らしのなかに技がある —  
(A4判／330頁／1,800円)  
福岡の人びとが生きる姿を写真と聞き書きで描き出す群像絵巻。

お求めは

- ◆福岡市博物館ミュージアムショップ
- ◆福岡市情報プラザ（福岡市役所1階）
- ◆ジュンク堂書店 福岡店
- ◆黒木書店 六本松店、長住店、七隈店

## 福岡市史のホームページ

刊行計画、各巻の詳細、編さん室の「いま」をお伝えしています。

<http://www.city.fukuoka.lg.jp/shishi/>